



病院NEWS

no.
365
2014
11/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

材料部長就任挨拶

材料部長 堀井 泰浩



材料部長に就任しました心臓血管外科の堀井泰浩です。

香川大学医学部附属病院では、新病棟が竣工し、来年度末に新手術棟が完成する重要な時期を迎えており、今後の発展へ向けての布石が必要です。新手術棟建設がようやく緒についており、そこに至るまでの苦労は大きく、諸方面の度重なる折衝の結果と言えますが、箱モノが完成しても中身が肝心であることに議論の余地はなく、良い医療を展開するための工夫が必要となります。それは医療者が獅子奮迅の努力をするといった旧時代的な発想ではなく、ハードとソフトが有機的に連結し、効率的な運営に向けての整備です。いろいろと不都合な点もあるのを承知の上で見切り発車となる新手術棟着工ではありますが、材料部は手術棟二階で、三階の手術室の直下となり、手術室との続きになる現在と同様に機動性を保てることは幸いです。

ハードは整いつつあるといったところですが、ソフト面では更なる充実が必要です。昨今の医療技術の革新は目覚ましく、先進治療を行うために導入される医療機器に加えて、手術道具の増加・増量は大量で、ますます材料部の重要性が増しており、その膨大な道具をほとんど手作業で仕分け準備しているのが現状です。今後、その手術道具を含めた機器類の増加速度は、さらに大きくなることは間違いのないことで、今現在は何とかまかなっている単純な人間の手作業ではどうにもならないことは想像に難くありません。

ですから、新手術棟完成時に滅菌物質管理システムを一新することが、現在の材料部における最優先事項で、高額投資となりますが、必要であるから整備するべきものではなく、今後の発展に向けての大きな布石となるものです。ハードへというよりもソフトへの投資と言えます。管理システムを導入することで、物品一つずつの正確な追跡が可能となり、大幅な人的負担の軽減ばかりか、安全面への配慮が大きく、先進医療には必要不可欠なものです。病院運営においても、その屋台骨を支える手術部の円滑な運用にとって必要欠くべからざるもので、就任早々ではありますが、その重要性について述べさせて頂きました。

前任松井部長が、とても誠実で几帳面な方でしたので、その後任として、恥ずかしくないようにすることが精いっぱいですが、良い医療を展開するために、縁の下として重要な材料部における職責を担いたく存じ上げる次第です。

認知症疾患医療連携協議会

中核病院機能強化支援室

平成26年9月25日(木)17:00より医学部会議室において、第6回大川地区・木田地区認知症疾患医療連携協議会が開催されました。当院は香川県より認知症疾患医療センターの指定を受けており、センター運営の一環として医療と介護の連携強化を目的に、日頃地域での医療・介護に携わる地域医療機関や地域包括支援センター等の施設から委員の方々にお集まり頂き、年2回開催しています。この日は、当院センターの実績報告、認知症サポート体制について協議、情報を共有し連携を深めました。

平成26年度 市民公開講座 日本肝臓学会肝がん撲滅運動の報告



香川県肝疾患診療連携拠点病院 事業担当者
 日本肝臓学会 肝がん撲滅運動 香川県責任者
 香川大学医学部附属病院 副病院長(教育・研究担当)
 香川大学医学部 消化器・神経内科学 教授 正木 勉

肝がん撲滅運動の市民公開講座が、平成26年9月20日にかがわ国際会議場にて開催されました。参加人数は105名であり、多くの市民の皆様にご参加いただきました。

内容は、前半はB型肝炎の診断と治療、C型肝炎の微量元素の関与と最新治療、昨今増加傾向にある非アルコール性脂肪性肝炎について、当大学消化器内科の先生方にご講演いただきました。特にC型肝炎はインターフェロンなしの経口剤のみの治療もすでに始まり、来年にはさらに協力的な抗ウイルス薬も登場します。近い将来、C型肝炎はほぼ100%駆除できる時代になる、という内容は、会場にお越しの市民の皆様には大きな驚きをもたらせたかと思えます。

後半は早期肝がん、進行肝がんの内科的治療、および外科的治療に関して、これも当大学消化器内科、消化器外科の先生方にわかりやすくご講演いただきました。昨今、肝がん治療には多くのオプションがあり、ご来場いただいた市民の皆様に一筋の光を与えたのではないかと考えております。肝がん撲滅の日まで、今後も鋭意努力していく所存です。

がん周術期口腔機能管理

香川大学医学部附属病院歯・顎・口腔外科
 大林 由美子

このたび香川大学医学部附属病院にて「口腔ケアをがん治療の一環として取り入れる」周術期口腔機能管理が開始されました。がん治療における口腔ケアや歯科治療は、がん治療の経過や予後に大きく関わる重要な支持療法となるとの考えから、国立がん研究センターと日本歯科医師会は、抗がん剤治療や放射線治療による口腔内の合併症や感染症の予防と軽減を目指して、2010年から医科と歯科の医療連携を進めています。香川県においても医療連携は進んでおり、香川県におけるがん患者歯科医療連携病院は香川県立中央病院、高松赤十字病院、三豊総合病院、屋島総合病院、リつりん病院、香川労災病院と当院の7病院です。

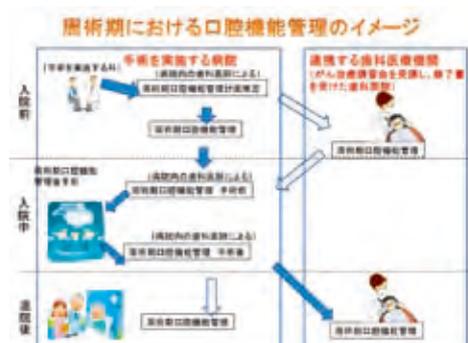
この目的は、口腔ケアをがん治療に導入することで、がん治療中の口腔内合併症を予防・軽減し、すべてのがん患者さんが安心して歯科治療や口腔ケアを受け、口から自然な形でおいしく食事をとることができる、そのような医療体制を構築することにあります。

がん治療の医科歯科連携のためには、「がんを治療する病院」と「地域の歯科医療機関」との連携が必須で、香川県でも所定の連携講習を受講した歯科医療機関が、がん患者診療に関わる医科歯科医療連携の登録医療機関となっています。現在連携登録数は延べ503歯科診療所と香川県下を網羅しております。

より良い連携システムを作り上げてゆくためには、まだまだ多くの問題、改善すべき点があると思います。本趣旨へのご意見、ご要望などがございましたら、ぜひ当科にフィードバック頂ければと存じます。

がん患者の主な治療法と口腔内に起こる合併症

治療法	がん 化学療法	放射線療法 (照射野に 口腔を含むもの)	がん 周術期	緩和 ケア
口腔内に 起こる 合併症	口腔粘膜炎 菌性感染症 カンジダ、 ヘルペス感染 味覚異常 口腔乾燥症 顎骨壊死 GVHD	口腔粘膜炎 菌性感染症 カンジダ、 ヘルペス感染 味覚異常 口腔乾燥症 顎骨壊死 放射線性う蝕 骨髄炎	術後創部感染 術後肺炎 挿管時の歯の 脱落、破折	口臭 菌性感染症 味覚異常 口腔乾燥症 誤嚥性肺炎 義歯不適合 カンジダ、 ヘルペス感染



放射線診断医をご存じでしょうか。

香川大学医学部放射線医学講座 西山 佳宏

放射線診断科は、単純撮影(俗称 レントゲン)やコンピュータ断層撮影(CT)、核磁気共鳴画像法(MRI)、ポジトロン断層法(PET)などの検査画像から画像診断を行っています。また画像誘導下で行う局所治療(インターベンショナルラジオロジー:IVR)や放射線を使った侵襲性の少ないがん治療も行っていきます。

放射線診断医は、患者さんの主治医から出された依頼をもとに、適正な検査を判断し、その検査画像から画像診断を行います。画像診断の結果は、通常は紙または電子的なレポート(読影レポート)にまとめられ、依頼主である主治医に送り返されます。検査の部位は頭の先から足の先まで広く全身にわたります。そのため放射線診断医は、いろいろな種類の病気に広く精通する必要があります。

検査について簡単に説明します。CTでは、放射線(X線)を照射しコンピュータを利用して、骨や筋肉・臓器などのX線吸収量を白黒の階調として表示することで、体の横断面の画像(輪切り)を作成します。MRIは、強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気の力を利用して体の臓器や血管を撮影する検査です。PETは、微量の放射線を出す薬を注射し、体内から出てくる放射線を専用の装置で撮影することにより画像を作成します。CTやMRIは臓器や病気の場所や大きさの情報にすぐれているので形態画像と呼ばれ、PETは臓器や病気の部位に薬が取り込むのかどうかなど生理学的な情報にすぐれているので機能画像と呼ばれます。

画像検査には、それぞれに長所・短所があります。放射線診断医は、最適な検査を主治医に助言し、検査画像から病気の診断さらには治療がうまくいっているかなどの助言を行っています。放射線診断医は、一般的に表に出ることが少なく縁の下の力持ちのような存在で、病院における医療の質を陰から支えています。

毎日新聞「四国健康ナビ」H26.9.17掲載

夜に眠ったまま行動する症候群

医学部地域連携精神医学講座 客員教授 新野 秀人

我々の睡眠は、レム睡眠と非レム睡眠に二分されます。レム睡眠のときは、脳は覚醒状態に近いのですが、体の筋肉(なかでも体重や姿勢を支える筋肉やあごを動かす筋肉)は休息中です。レム睡眠の時に夢を見ていることが多いと考えられています。これに対して、非レム睡眠では脳が休息中です。

レム睡眠の時に体の筋肉が十分に休息しない症候群があります。その時に悪夢(人や動物が襲ってくるような夢など)を見ることも多いようです。そこで、悪夢を見ながら逃げよう(または戦おう)とします。周囲から見ると理由がはっきりしないまま、寝室で不穏な行動(殴る、蹴る、投げるなど)をとるので大変困ります。レム睡眠行動障害(RBD)とよばれています。実際に室内には存在しないものを相手に喧嘩をすることもあり、幻覚と混同されやすい現象です。幻覚のため興奮しているのではなく、レム睡眠の異常であり睡眠障害の一種です。

RBDの特徴として、①悪夢などを見ている際に行動化する、②名前を呼ぶなどで覚醒すると不穏な行動は止まる、③それまでの不穏な行動を夢の内容として覚えている。が挙げられます。多くは50歳以降で生じるようになります。神経変性疾患や脳梗塞などに続いて生じるRBDもありますが、基礎疾患が明らかでないRBDも少なくありません。基礎疾患が明らかではないRBDのなかには、のちに認知症やパーキンソン病が顕在化する場合があることが報告されています。

治療としては、クロナゼパムを就寝前に服用します。多くの場合クロナゼパム少量服用により、不穏な行動が生じなくなります。患者さん本人の感想としては、「熟眠感が増した。」、「悪夢を見なくなった。」という声をよく聞きます。ただし、睡眠時無呼吸症候群がある場合やクロナゼパム少量でも眠気が残りやすい場合には、クロナゼパムが適しません。専門医療機関で診療を受けましょう。

毎日新聞「四国健康ナビ」H25.1.9掲載

第6回お月見で笑を開催

医事課

9月10日(水)18時30分から、医学部附属病院1階玄関ホールで秋の院内イベント「お月見で笑(ショー)」を開催しました。

NHK文化センター高松教室で「お笑い福祉士入門(講師:落語家 笑福亭学光)」を受講している生徒さん達6人が、当院の入院患者さんに早く良くなってもらうことを願い「笑いは健康の源」として落語・手品・南京玉すだれなどを披露してくださいました。



臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL
<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H26.11~H27.1月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
11/11 火	14:00~15:15	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	肝臓病教室	地域連携室	(087)898-2417
11/21 金	14:00~16:00	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	がん患者サロンセミナー	がん相談支援センター	(087)891-2473
11/23,24 日 月	終日(9:00~17:15)	医学部講義実習棟	緩和ケア研修会	中核病院機能強化支援室	(087)891-2452
12/1 月	18:00~19:15	医学部管理棟4階会議室1	緩和ケア学習会・緩和ケアエキスパート研修	腫瘍センター	(087)891-2054
H27 1/16 金	14:00~16:00	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	がん患者サロンセミナー	がん相談支援センター	(087)891-2473

平成27年度 看護職員募集

看護師・助産師
80名募集

受付期間

平成26年7月1日(火)~
平成27年1月13日(火)

試験日	応募締切日
7月19日 日	7月8日 火
8月22日 金	8月12日 火
10月24日 金	10月14日 火
11月28日 金	11月18日 火
平成27年1月23日 金	平成27年1月13日 火

お問合せ先 **087-891-2013**(医学部総務課人事係)

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、岡田(総務)、
加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、
濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、
村上(病棟)、安友(管理)、横井(情報)、
吉野(医事)

[委員長 横見瀬病院長]